

2014年度(2015年3月期) 第2四半期決算説明会資料

2014年11月5日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp>
(営業情報 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp>)

目 次

<i>I. 2014年度(2015年3月期) 第2四半期決算実績</i>	2
<i>II. 2014年度(2015年3月期) 通期業績予想</i>	27
<i>III. 参考資料</i>	34

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。
実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

I . 2014年度(2015年3月期) 第2四半期決算実績

連結決算の範囲

	2014年度2Q末	2013年度末	増減
連結子会社	96社	95社	増加: 1社
持分法適用関連会社	10社	10社	
計	106社	105社	

ピーアンドピー浜松

2014年度第2四半期決算 連結損益比較表(サマリー)

(単位：百万円)

科 目	2014年度 2Q累計	2013年度 2Q累計	比較増減	増減率	備考
営業収益	334,633	349,566	△14,933	△4.3%	次ページ参照
営業利益	52,835	61,608	△8,772	△14.2%	
うち、減価償却費	26,021	26,676	△654	—	
営業外収益	4,698	4,257	+441	—	
うち、受取利息 及び配当金(A)	907	814	+93	—	
営業外費用	8,155	9,176	△1,020	—	
うち、支払利息(B)	7,297	8,500	△1,202	—	
うち、金融収支(A-B)	△6,389	△7,685	+1,295	—	
経常利益	49,378	56,689	△7,311	△12.9%	
特別利益	1,055	8,927	△7,871	—	固定資産売却益 △8,093
特別損失	2,974	1,345	+1,629	—	
四半期純利益	28,963	39,646	△10,682	△26.9%	

セグメント別営業成績(サマリー)

(単位：百万円)

	都市交通	不動産	エンタテインメント・コミュニケーション	旅行	国際輸送	ホテル	その他	調整額	連結
営業収益									
2014年度2Q累計	115,866	93,215	61,164	18,419	18,698	29,936	14,605	△17,272	334,633
2013年度2Q累計	116,083	113,146	58,242	17,805	18,291	31,277	12,128	△17,409	349,566
比較増減	△217	△19,931	+2,922	+613	+406	△1,341	+2,476	+136	△14,933
営業利益									
2014年度2Q累計	20,459	17,298	12,934	2,605	1,085	△201	△30	△1,317	52,835
2013年度2Q累計	21,331	26,593	12,682	1,520	844	233	△6	△1,590	61,608
比較増減	△871	△9,294	+251	+1,085	+241	△434	△23	+273	△8,772

不動産事業において、マンション分譲戸数が、通期では前期並みを見込むものの、当第2四半期連結累計期間においては、前年同期に竣工・引渡しが集中した影響により減少したこと等から、連結全体で減収・減益となった。

都市交通セグメント

(単位：百万円)

	2014年度2Q累計	2013年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	115,866	116,083	△217	△0.2%
営業利益	20,459	21,331	△871	△4.1%

(鉄道): 前年度末に消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が発生した影響により鉄道事業全体で運輸収入が減少したことや、動力費が増加したこと等により、減収・減益

(自動車): タクシー事業における車両稼働台数の減少等により、減収・減益

2014年度2Q累計(業態別内訳)	営業収益	前年同期比較
鉄道事業	726億円	△1億円
自動車事業	235億円	△3億円
流通事業	180億円	+15億円
広告事業	38億円	+6億円
都市交通その他事業	27億円	△11億円

別途、本社費・調整額あり

事業移管による影響を含む[※]

※ 当期より、駅ナカ・駅チカ事業の強化のため、阪神ステーションネット(都市交通その他事業)で展開していた阪神沿線の駅売店・自動販売機・コインロッカー等の事業及び阪急レールウェイサービス(鉄道事業)が展開していた阪急沿線のコインロッカー事業を、エキ・リテール・サービス阪急阪神(流通事業)へ移管し、一体的な事業運営を開始している。

《都市交通》 鉄道運輸成績

《阪急電鉄》

	収 入				人 員			
	2014年度2Q累計 百万円	2013年度2Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2014年度2Q累計 千人	2013年度2Q累計 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	30,111	30,486	△375	△1.2	152,711	155,071	△2,360	△1.5
定期	16,015	15,768	+247	+1.6	163,670	160,699	+2,970	+1.8
うち通勤	13,684	13,412	+272	+2.0	112,374	109,253	+3,121	+2.9
うち通学	2,331	2,355	△24	△1.1	51,296	51,446	△150	△0.3
合計	46,127	46,254	△127	△0.3	316,381	315,771	+610	+0.2

消費税率引き上げ影響 約△5億円

《阪神電気鉄道》

	収 入				人 員			
	2014年度2Q累計 百万円	2013年度2Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2014年度2Q累計 千人	2013年度2Q累計 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	10,359	10,409	△49	△0.5	56,819	57,359	△540	△0.9
定期	5,643	5,529	+114	+2.1	58,950	57,325	+1,625	+2.8
うち通勤	5,042	4,930	+111	+2.3	46,395	44,994	+1,400	+3.1
うち通学	601	598	+2	+0.5	12,555	12,330	+224	+1.8
合計	16,003	15,938	+64	+0.4	115,769	114,684	+1,084	+0.9

消費税率引き上げ影響 約△1億円

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示している。
2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいる。
3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計である。

《都市交通》 鉄道運輸成績(増減要因)

《阪急電鉄》

運輸収入(第1種・第2種合計)

(単位:百万円)

定期・定期外合計	1Q	2Q	上半期 合計
2014年度実績	23,228	22,898	46,127
2013年度実績	23,471	22,783	46,254
増減	△242	+115	△127
増減率	△1.0%	+0.5%	△0.3%

対前年同期比の増減要因(推定)

- ・前年度末に消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が発生した影響
△550百万円
- ・前年度猛暑による出控え等の影響
+86百万円
- ・秋口の好天の影響
+62百万円
- ・その他(沿線人口増加ほか)
+275百万円

《阪神電気鉄道》

運輸収入(第1種・第2種合計)

(単位:百万円)

定期・定期外合計	1Q	2Q	上半期 合計
2014年度実績	7,881	8,121	16,003
2013年度実績	7,885	8,052	15,938
増減	△4	+69	+64
増減率	△0.1%	+0.9%	+0.4%

対前年同期比の増減要因(推定)

- ・前年度末に消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が発生した影響
△135百万円
- ・阪神甲子園球場への輸送人員増(オールスター・高校野球等)
+42百万円
- ・USJ来場者数増
+18百万円
- ・その他(沿線人口増加ほか)
+139百万円

旅客人員(第1種・第2種合計)

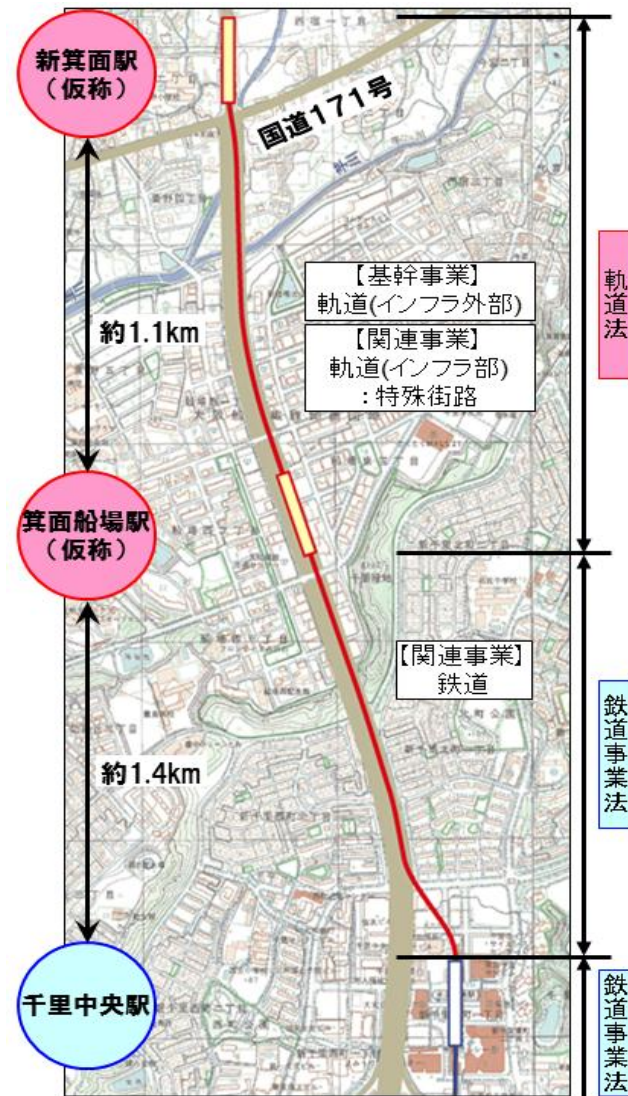
定期外旅客人員 対前年同期比 △1.5%
定期旅客人員 対前年同期比 +1.8%

旅客人員(第1種・第2種合計)

定期外旅客人員 対前年同期比 △0.9%
定期旅客人員 対前年同期比 +2.8%

《都市交通》 北大阪急行線の延伸整備

大阪府・箕面市・阪急電鉄・北大阪急行電鉄の4者で事業化に合意



整備計画の概要

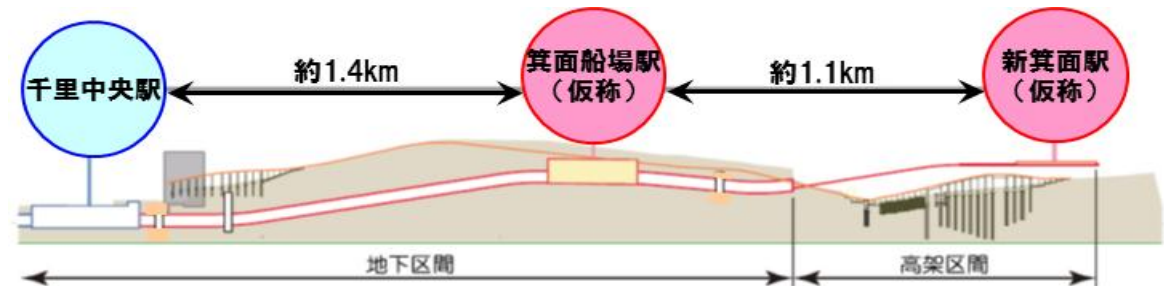
- 延伸距離 千里中央～(仮称)新箕面 2.5km
- 新駅整備 (仮称)箕面船場駅、(仮称)新箕面駅
- 概算事業費 650億円
- 需要 4.2万人/日

事業スキーム

- 整備主体 北大阪急行電鉄 及び
箕面市(箕面船場～新箕面間のインフラ部整備)
- 営業主 北大阪急行電鉄
- 適用制度 社会資本整備総合交付金制度
- 北急負担額 受益相当額(現時点での想定:80億円)
※関連まちづくりにより需要増となる場合は増額

想定スケジュール

- 2015年度: 鉄道事業許可・軌道事業特許取得
- 2017年度: 本工事着手



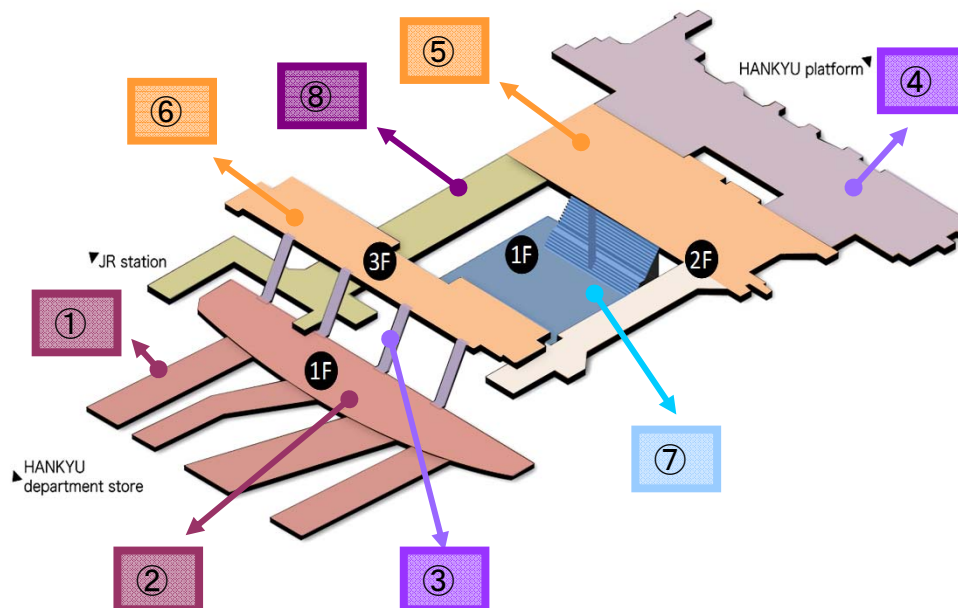
《都市交通》 阪急梅田駅リファイン工事

■背景・目的

- 現在の阪急梅田駅は、1973年11月の竣工以来、約40年が経過。
- 阪急梅田駅を、梅田阪急ビルの建替えやグランフロント大阪等、再開発が進む大阪梅田地区の「顔」にふさわしい、洗練された統一感溢れるエリアとする。

■工事内容

- 内装の更新(美装化)… 空間デザインコンセプト
“劇場空間 阪急スタイル”
- LED照明による省エネルギー化と温かみのある空間演出
- サイン・広告物の整理によるわかりやすい空間づくり
- 5つのイメージからなる空間に生まれ変わる。



▲1～2階・BIGMAN前広場(STAGE)のイメージ

APPROACH	①JR高架下通路	②1階東西方面通路
GATE	③1階～3階階段、エスカレーター	④2階中央改札内コンコース
LOBBY	⑤2階中央改札外コンコース	⑥3階改札外コンコース
STAGE	⑦1階～2階 BIGMAN前広場	
GALLERIA	⑧2階JR大阪駅方面連絡通路	

■工事期間

- JR高架下通路は2012年秋に供用開始済
- 2014年度末(2015年3月)に全面工事竣工(予定)

■総事業費

- 約36億円(先行するJR高架下通路を含む)

不動産セグメント

(単位：百万円)

	2014年度2Q累計	2013年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	93,215	113,146	△19,931	△17.6%
営業利益	17,298	26,593	△9,294	△35.0%

(賃貸)： グランフロント大阪及び梅田阪急ビルのオフィス稼働率が向上したこと等により増収となったものの、光熱費等の諸経費が増加したため減益

(分譲・その他)： マンション分譲戸数が、通期では前期並みを見込むものの、当第2四半期連結累計期間においては、前年同期に竣工・引渡しが集中した影響により減少(△520戸：前年同期924戸→当期405戸※)したこと等から、減収・減益

※ 当社グループの持分戸数 なお、当期のマンション販売は、ほぼ当初想定どおりに進捗している

2014年度2Q累計(業態別内訳)	営業収益	前年同期比較
賃貸事業	508億円	+8億円
分譲・その他事業	497億円	△211億円

別途、本社費・調整額あり

《不動産》 梅田1丁目1番地計画 (大阪神ビルディング及び新阪急ビル建替計画)

2014年10月に事業着手。2022年の竣工に向けて、行政及び関係先との協議を着実に推進。

【計画概要】

所在地	大阪市北区梅田1丁目1番他
敷地面積	約 12,200m ² ※
延床面積	約257,000m ²
規 模	地上38階、地下3階
用 途	百貨店、オフィス、ホール等
竣工時期	2022年春頃

※大阪神ビル・新阪急ビル間道路750m²含む

【スケジュール(予定)】

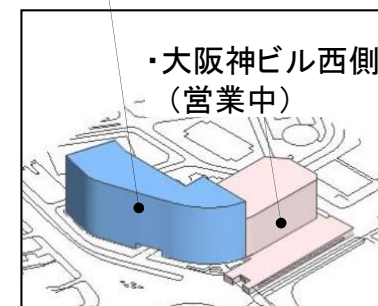
2014年10月	I 期工事(新阪急ビル解体工事着手)
2015年春頃	〃 (大阪神ビル東側解体工事着手)
2015年秋頃	〃 (I 期部分新築工事着手)
2018年春頃	I 期工事竣工 (新阪急ビル・大阪神ビル東側部分)、 新百貨店の部分開業
2018年春頃	II 期工事(大阪神ビル西側解体工事着手)
2019年春頃	〃 (II 期部分新築工事着手)
2021年秋頃	II 期工事竣工(新百貨店部分)、 新百貨店の全面開業
2022年春頃	全体竣工、オフィス開業

【建物外観イメージ図】



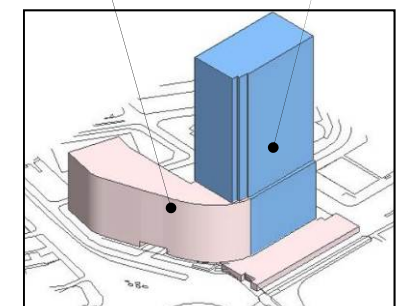
【I 期工事】

- ・大阪神ビル東側(工事中)
- ・新阪急ビル(工事中)



【II 期工事】

- ・大阪神ビル西側(工事中)
- ・I 期部分(営業中)



《不動産》 マンション分譲事業

マンション市況の動向を注視しながら、弾力的に供給戸数を設定

■ 事業方針

- ・安定的な利益計上に向け、候補物件を厳選しながら用地取得を推進していく。
- ・顧客ニーズをより重視した商品企画に努め、製・販・管の一貫体制により高品質を維持。
- ・消費税増税・建設費高騰に伴う影響等を十分に見据えつつ、着実に事業を推進していく。

■ 地域戦略

- 【近畿圏】 阪急・阪神沿線及びその周辺。
- 【首都圏】 都心・城南・城西（東急沿線など）及びその周辺。

■ 分譲戸数(持分戸数)

- ・2014年度は約1,300戸の引渡しを予定。

【2014年度・2015年度分譲物件】



【ジオ新町】
2014年6月竣工(完売)

「グッドデザイン賞」
2014年度受賞プロジェクト
(5年連続受賞)



【ジオ千里中央】
2015年4月竣工予定

【2014年度 主な竣工予定物件(近畿圏・首都圏毎に物件総戸数順)】

物件名	物件所在地	物件総戸数
ジオタワー高槻ミューズガーデン ※1	大阪府高槻市	477戸
ジオ新町 ※1	大阪府大阪市	382戸
ジオ西宮北口ガーデンズ(南工区) ※1	兵庫県西宮市	160戸
ジオ釣鐘町	大阪府大阪市	123戸
ジオ阪急川西レジデンスマーク	兵庫県川西市	104戸
ジオ烏丸五条	京都府京都市	60戸
ジオグランデ芦屋	兵庫県芦屋市	16戸
ジオ勝どき	東京都中央区	68戸
ジオ上野毛	東京都世田谷区	41戸
ジオ代官山	東京都目黒区	20戸

【2015年度 主な竣工予定物件(近畿圏・首都圏毎に物件総戸数順)】

物件名	物件所在地	物件総戸数
ジオ千里中央 ※1	大阪府豊中市	※2 514戸
ジオ阪急洛西口 ノースレジデンス	京都府向日市	231戸
ジオ西神中央	兵庫県神戸市	205戸
ジオタワー南堀江	大阪府大阪市	※3 205戸
ジオ阪急洛西口 サウスレジデンス ※1	京都府向日市	161戸
ジオ西宮北口 樋ノ口町	兵庫県西宮市	36戸
ジオ神戸山本通	兵庫県神戸市	36戸
富久クロス コンフォートタワー ※1	東京都新宿区	※4 1,093戸
ジオ等々力	東京都世田谷区	69戸
ジオ新小岩	東京都江戸川区	38戸
ジオ赤坂丹後町	東京都港区	23戸

※1: 共同事業物件 ※2: 非分譲住戸146戸含む ※3: 非分譲住戸3戸含む ※4: 非分譲住戸100戸含む

エンタテインメント・コミュニケーションセグメント

(単位：百万円)

	2014年度2Q累計	2013年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	61,164	58,242	+2,922	+5.0%
営業利益	12,934	12,682	+251	+2.0%

(スポーツ)：阪神タイガースの公式戦主催試合数が増加(+2試合：前年同期70試合→当期72試合)したこと等により、増収・増益

(ステージ)：宙組公演「ベルサイユのばら-オスカル編-」や星組公演「The Lost Glory-美しき幻影-」・「パッショネイト宝塚！」等の公演が好評を博したことに加え、歌劇関連商品の販売が好調に推移したこと等により、増収・増益

(コミュニケーションメディアその他)：情報サービス事業において増収となったものの、利益はほぼ横ばい

2014年度2Q累計(業態別内訳)	営業収益	前年同期比較
スポーツ事業	230億円	+7億円
ステージ事業	187億円	+21億円
コミュニケーションメディアその他事業	198億円	+2億円

別途、本社費・調整額あり

旅行セグメント

(単位：百万円)

	2014年度2Q累計	2013年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	18,419	17,805	+613	+3.4%
営業利益	2,605	1,520	+1,085	+71.4%

海外旅行において、カナダ方面や台湾等のアジア方面の集客が好調に推移していること等により増収となったほか、コストの抑制に努めたこと等により増益

【旅行事業 2014年度第2四半期の概況】

- ◆海外旅行 業界 第 3 位 (注)
取扱高 1,330億円 (前期比 $\Delta 7.0\%$)
- ◆国内旅行 業界 第 6 位 (注)
取扱高 714 億円 (前期比 $\Delta 6.0\%$)
- ◆総取扱高 業界 第 5 位 (注)
取扱高 2,052億円 (前期比 $\Delta 6.5\%$)

※阪急交通社と阪急阪神ビジネストラベルの2社合算

※(注)取扱高は、4月-9月までの合計値。業界順位は、4月-8月までの合計値による順位。

観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」より

【海外旅行】

主力のヨーロッパ方面は円安による割高感もあり集客は弱含みとなったが、人気のカナダや台湾等が好調に推移した。中国・韓国は依然として低迷が続く。

【国内旅行】

四国八十八ヶ所霊場開創1200年を迎えたお遍路ツアーや話題の竹田城跡など、時機をとらえた商品ラインナップの充実を図った。前年度は伊勢神宮、出雲大社の遷宮にあたるブームがあり、その反動を受ける。

【阪急交通社旅行ブランド】

行きたい旅、見つかる。



見つけた! 私だけの旅



旅。あなたにふさわしく



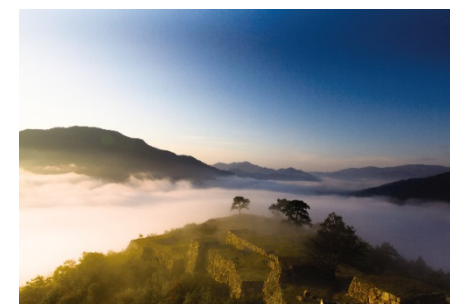
ともに、感動。深まる。



「思いどおりの旅」という贅沢を。



レイクルイーズ(カナダ)



竹田城跡(兵庫県)

国際輸送セグメント

(単位：百万円)

	2014年度2Q累計	2013年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	18,698	18,291	+406	+2.2%
営業利益	1,085	844	+241	+28.6%

アセアン・中国を中心とした貨物需要の緩やかな回復を受け、増収・増益

《国際輸送》 営業概況

【国際輸送事業 2014年度の概況】

◆売上高※1 394億円（前期比 3.7%）※2

日本 203億円（前期比 +1.9%）

海外 190億円（前期比 +5.7%）※3

※1. 輸出運賃原価相当分を含む

※2. 連結対象の国内法人（2014年4月～2014年9月）と海外法人（2014年1月～6月）の単純合計
（売上のほぼ100%がグループ内で占められる会社は除く）

※3. 海外法人は14年6月末の為替レートで換算

【概況】

全体としては力強さには欠けるものの、日本・海外共に売上高は前年より伸長。

【日本】

航空・海上共に輸入は円安や国内消費低迷の影響等で低調も、輸出は堅調に推移し、前年を上回る。

【海外】

アセアン各社が概ね好調であったことや、中国の物流需要回復などにより前年を上回る。

【国際輸送事業の取り組み】

新興市場におけるネットワーク拡充

◆中国・長春に拠点開設（2014年6月）

自動車産業が盛んで、日系企業も多数進出する東北三省の中核都市・長春に拠点を開設。自動車関連物流への取り組みを強化。



成長産業に対するトータルソリューションの提供

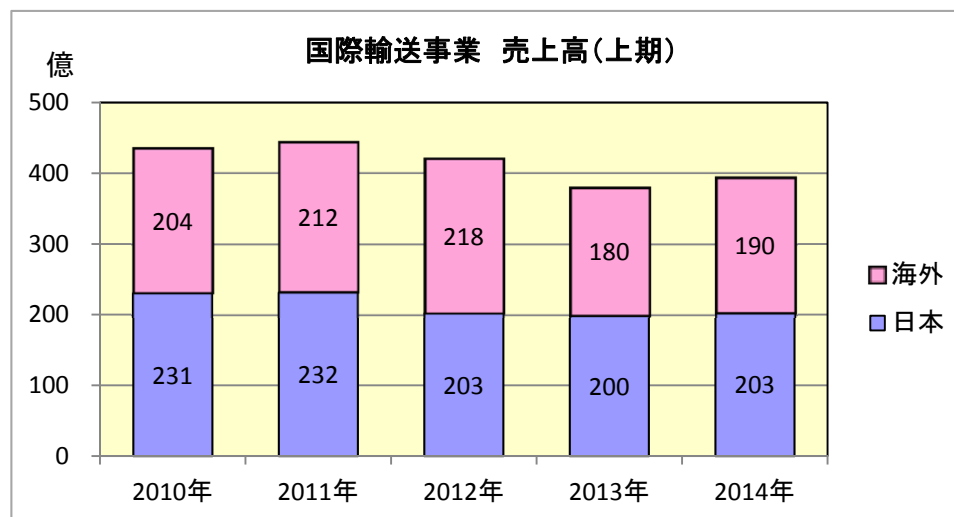
◆関西空港発着の医薬品輸送強化

医薬品専用共同定温庫のある関西空港をハブと位置付け、医薬品輸送を強化。関空と自社保冷施設のある上海空港間でクールチェーンを構築。



【阪急阪神エクスプレスのグローバルネットワーク】

拠点数：国内33／海外98（2014年9月30日現在）



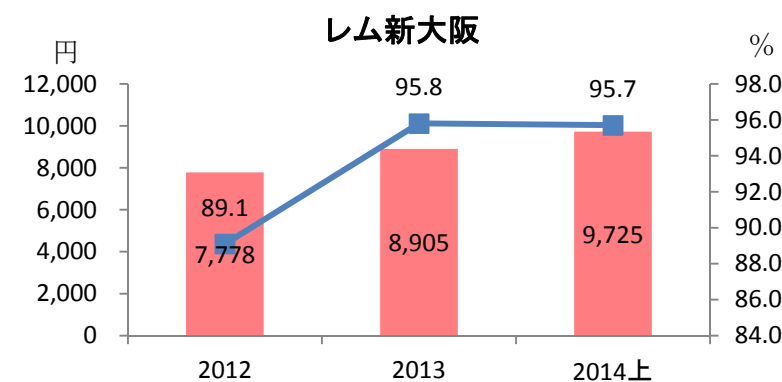
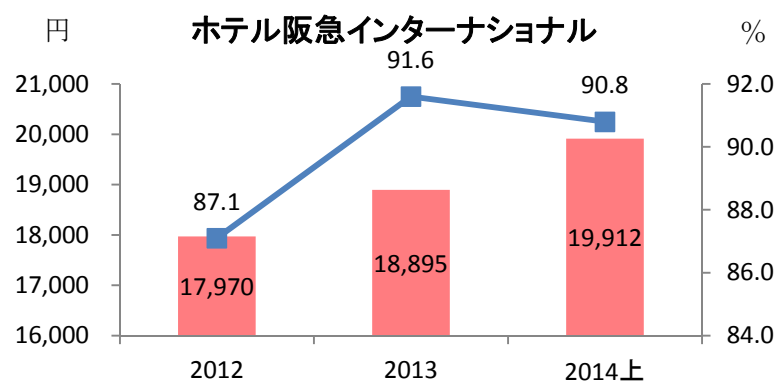
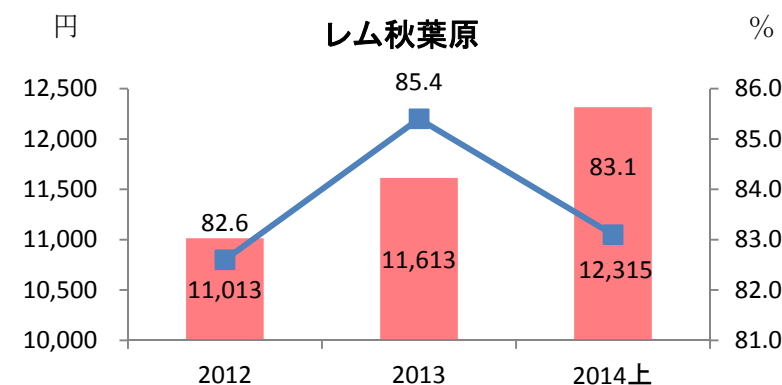
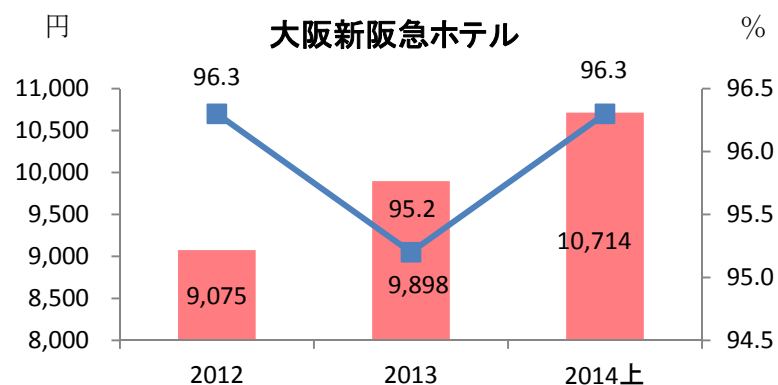
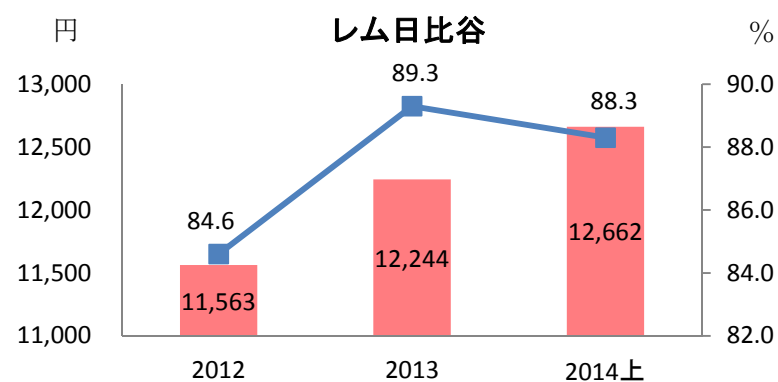
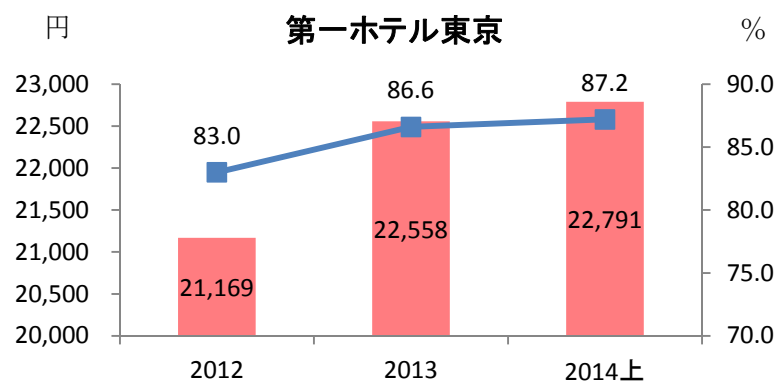
ホテルセグメント

(単位：百万円)

	2014年度2Q累計	2013年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	29,936	31,277	△1,341	△4.3%
営業利益	△201	233	△434	—

外国人宿泊客が増加したこと等により、宿泊部門が堅調に推移したものの、レストラン部門や婚礼宴会が低調に推移したこと等により、減収・減益

《ホテル》 主要ホテル稼働率、ADR



連結損益比較表(営業外損益内訳)

(単位：百万円)

科 目	2014年度2Q累計	2013年度2Q累計	比較増減
営業利益	52,835	61,608	△8,772
営業外収益	4,698	4,257	＋441
うち、持分法による投資利益	3,014	2,243	＋770
営業外費用	8,155	9,176	△1,020
うち、支払利息	7,297	8,500	△1,202
経常利益	49,378	56,689	△7,311

連結損益比較表(特別損益内訳)

(単位：百万円)

科 目	2014年度2Q累計	2013年度2Q累計	比較増減
特別損益	△1,918	+7,582	△9,501
特別利益	1,055	8,927	△7,871
工事負担金等受入額	809	428	+381
固定資産売却益	81	8,175	△8,093
その他	164	324	△159
特別損失	2,974	1,345	+1,629
固定資産圧縮損	795	268	+527
訴訟損失引当金繰入額	1,198	—	+1,198
その他	980	1,076	△96

阪急西宮ガーデンズの
一部持分を売却など

連結損益比較表(四半期純利益)

(単位：百万円)

科 目	2014年度2Q累計	2013年度2Q累計	比較増減
税金等調整前四半期純利益	47,459	64,271	△16,812
法人税等合計	17,784	23,980	△6,195
法人税、住民税及び事業税	12,200	17,960	△5,759
法人税等調整額	5,584	6,020	△436
少数株主損益調整前四半期純利益	29,675	40,291	△10,616
少数株主利益	711	645	＋66
四半期純利益	28,963	39,646	△10,682

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目		2014年度2Q末	2013年度末	比較増減	備 考
資 産 の 部	流動資産	240,839	270,919	△30,079	受取手形及び売掛金 △14,388 など
	固定資産	2,003,045	2,016,009	△12,963	有形・無形固定資産 △17,642 など
	資産合計	2,243,884	2,286,928	△43,043	
負 債 の 部	流動負債	483,814	564,220	△80,406	
	固定負債	1,117,701	1,105,109	+12,591	
	負債合計	1,601,515	1,669,330	△67,814	
純 資 産 の 部	株主資本	613,260	588,969	+24,291	四半期純利益28,963－支払配当4,431 など
	その他の包括利益累計額	13,110	13,081	+29	
	新株予約権	318	208	+109	
	少数株主持分	15,678	15,338	+340	
	純資産合計	642,369	617,598	+24,770	

	2014年度2Q末	2013年度末	比較増減
借入金	863,817	898,605	△34,788
社債	122,000	122,000	—
リース債務	10,900	11,702	△801
連結有利子負債	996,718	1,032,307	△35,589

営業キャッシュ・フローを有利子負債の
返済に充当したことによる減少 など

	年間配当金		
	中間配当	期末配当	合計
2014年度	3.0 円	3.0 円 (予想)	6.0 円 (予想)
2013年度	2.5 円	3.5 円	6.0 円

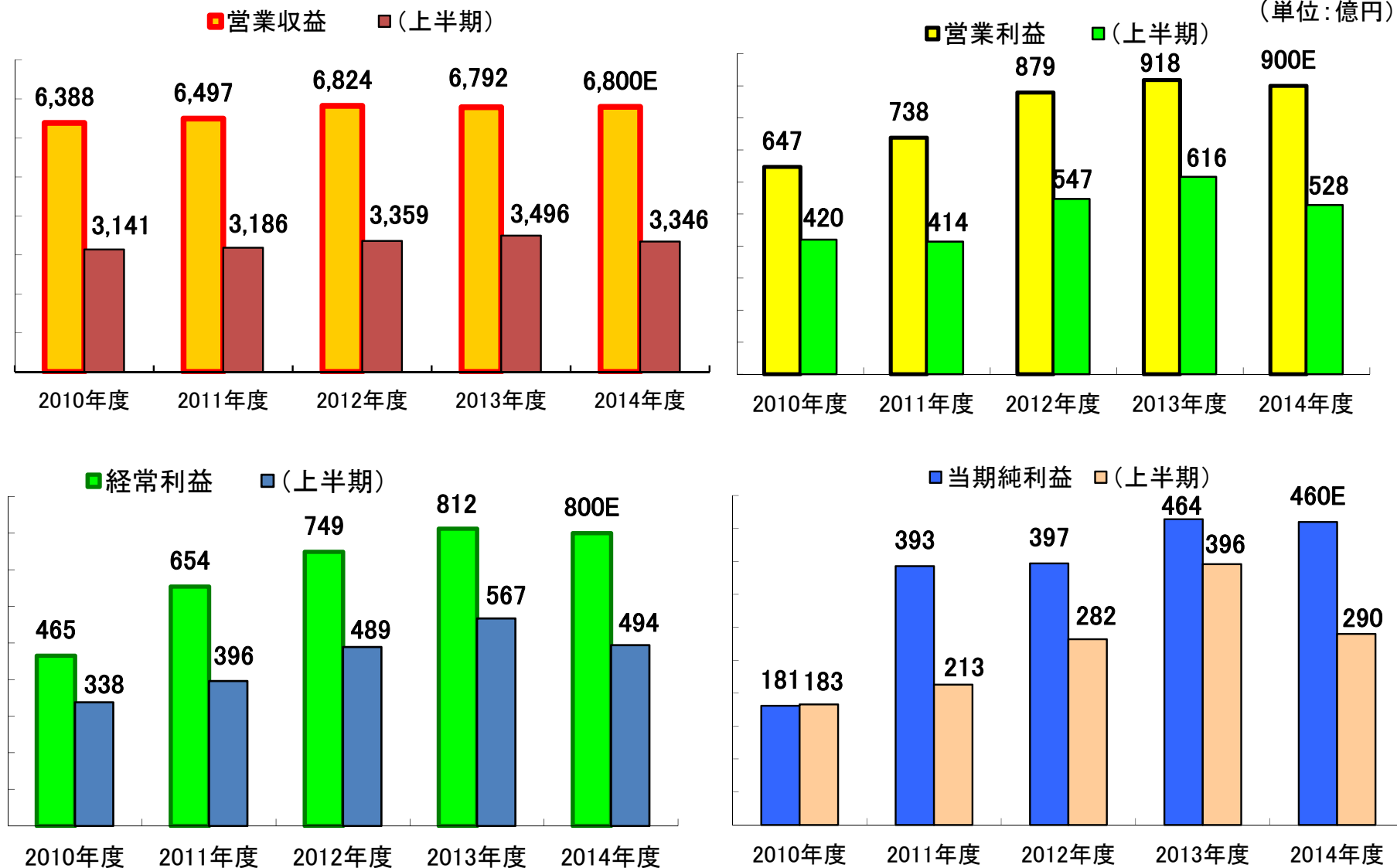
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	2014年度 2Q累計	2013年度 2Q累計	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,022	68,366	△10,344
うち、減価償却費	26,021	26,676	△654
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,335	△15,308	△2,026
うち、固定資産の取得による支出	△33,051	△56,173	+23,121
うち、固定資産の売却による収入	3,744	20,013	△16,269
うち、工事負担金等受入による収入	14,366	12,700	+1,665
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41,553	△57,706	+16,152
うち、配当金の支払額	△4,431	△6,333	+1,902
[参考] 連結有利子負債の増減額	△35,589	△50,592	+15,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	△382	1,288	△1,671
現金及び現金同等物の増減額	△1,248	△3,358	+2,110
現金及び現金同等物の期首残高	24,497	25,581	△1,084
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	125	755	△630
現金及び現金同等物の期末残高	23,373	22,978	+395

【ご参考】営業収益と利益の推移

(単位: 億円)



※E＝予想値 (2014年度の通期の数値は予想値)

Ⅱ. 2014年度(2015年3月期) 通期業績予想

2014年度 連結業績予想修正(総括)

(単位：億円)

科 目	2014年度 今回発表予想	2014年度 5月発表予想	比較増減	増減率	備考
営業収益	6,800	6,700	+100	+1.5%	不動産分譲事業が好調に推移していることや、鉄道事業で阪急線・阪神線の運輸収入が当初の想定を上回る見込みであること等を踏まえ、前回(2014年5月)発表予想から上方修正
営業利益	900	860	+40	+4.7%	
うち、減価償却費	539	551	△12	—	
経常利益	800	770	+30	+3.9%	
うち、受取利息及び配当金(A)	15	12	+3	—	
うち、支払利息(B)	143	149	△6	—	
うち、金融収支(A-B)	△128	△137	+9	—	
当期純利益	460	450	+10	+2.2%	

2014年度業績予想修正 セグメント別の変動要因

(単位：億円)

上段:営業収益 下段:営業利益	2013年度 通期実績 ①	2014年度 当初予想 (5月発表) ②	2014年度 今回発表予想 ③	=③-①	=③-②	営業利益予想の主な変動要因
合計	6,792	6,700	6,800	+8	+100	P.29参照
	918	860	900	△18	+40	
[主な内訳]						
都市交通	2,346	2,302	2,313	△33	+11	鉄道運輸収入の増加等
	385	365	373	△12	+8	
不動産	2,086	2,063	2,078	△8	+15	不動産分譲事業の好調等
	380	358	371	△9	+13	
エンタテインメント・ コミュニケーション	1,104	1,097	1,086	△18	△11	宝塚歌劇の観劇人員増加等
	142	114	118	△24	+4	
旅行	330	333	340	+10	+7	
	12	18	19	+7	+1	
国際輸送	377	386	382	+5	△4	
	21	23	23	+2	－	
ホテル	637	643	627	△10	△16	
	8	10	10	+2	－	

《都市交通》 鉄道運輸成績(通期予想)

《阪急電鉄》

	収 入				人 員			
	2014年度予想 百万円	2013年度実績 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2014年度予想 千人	2013年度実績 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	60,958	61,630	△671	△1.1	309,324	313,241	△3,917	△1.3
定期	31,438	31,299	+139	+0.4	317,395	315,884	+1,510	+0.5
うち通勤	27,006	26,843	+163	+0.6	220,248	218,463	+1,784	+0.8
うち通学	4,432	4,455	△23	△0.5	97,147	97,421	△274	△0.3
合計	92,397	92,929	△532	△0.6	626,719	629,125	△2,406	△0.4

消費税率引き上げ影響 約△14億円

《阪神電気鉄道》

	収 入				人 員			
	2014年度予想 百万円	2013年度実績 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2014年度予想 千人	2013年度実績 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	20,104	20,260	△155	△0.8	111,195	112,360	△1,165	△1.0
定期	11,152	11,008	+143	+1.3	115,529	113,644	+1,884	+1.7
うち通勤	10,010	9,850	+160	+1.6	91,771	89,736	+2,034	+2.3
うち通学	1,142	1,158	△16	△1.4	23,758	23,907	△149	△0.6
合計	31,257	31,269	△12	△0.0	226,724	226,004	+719	+0.3

消費税率引き上げ影響 約△4億円

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示している。
2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいる。
3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計である。

2014年度業績予想修正 経営管理指標と有利子負債

	(A)2013年度 実績		(B)2014年度 5月発表予想		(C)2014年度 今回発表予想
連結有利子負債/EBITDA倍率	6.9倍	→	6.7倍	→	6.6倍
連結有利子負債	10,323億円		9,700億円		9,700億円
連結EBITDA	1,492億円		1,440億円		1,470億円
D/Eレシオ	1.7倍	→	1.5倍	→	1.5倍
連結ROE	8.0%	→	7.2%	→	7.4%

[注]

①EBITDAは「営業利益＋減価償却費＋のれんの償却費」で算出。

②連結ROEの算出にあたっては、分母に自己資本の期首期末平均を使用している。

2014年度業績予想修正 (ご参考)セグメント別の設備投資・減価償却費

	2013年度 通期実績	2014年度 当初予想 (5月発表)	2014年度 今回発表予想	=③-①	=③-②
	①	②	③		
設備投資	億円 807	億円 670	億円 700	億円 △107	億円 +30
[主な内訳]					
都市交通	275	337	336	+61	△1
不動産	435	213	260	△175	+47
エンタテインメント・コミュニケーション	56	97	82	+26	△15
旅行	12	9	8	△4	△1
国際輸送	6	5	5	△1	—
ホテル	18	25	26	+8	+1
減価償却費	545	551	539	△6	△12
[主な内訳]					
都市交通	260	266	260	+0	△6
不動産	180	176	174	△6	△2
エンタテインメント・コミュニケーション	71	74	72	+1	△2
旅行	8	8	8	△0	—
国際輸送	7	7	7	△0	—
ホテル	21	21	20	△1	△1

2014年度業績予想修正 (ご参考)セグメント別のEBITDA

	2013年度 通期実績 ①	2014年度 当初予想 (5月発表) ②	2014年度 今回発表予想 ③	=③-①	=③-②
EBITDA	億円 1,492	億円 1,440	億円 1,470	億円 △22	億円 +30
[主な内訳]					
都市交通	644	631	633	△11	+2
不動産	560	534	545	△15	+11
エンタテインメント・コミュニケーション	212	190	192	△20	+2
旅行	20	26	27	+7	+1
国際輸送	28	30	30	+2	—
ホテル	29	31	30	+1	△1

Ⅲ. 参考資料

コア事業の構成会社

(2014年9月30日現在)

都市交通事業	
鉄道	阪急電鉄 阪神電気鉄道 能勢電鉄 北大阪急行電鉄 北神急行電鉄 神戸高速鉄道 阪急阪神レールウェイ・テクノロジー 阪急阪神電気システム 阪急レールウェイサービス
自動車	阪急バス 阪神バス 阪急観光バス 阪急田園バス 大阪空港交通 阪急タクシー 阪神タクシー 阪急阪神エムテック ニッポンレンタカー阪急 阪急ドライビングスクール服部緑地 ハックス阪神
流通	エキ・リテールサービス阪急阪神 いいなダイニング
広告	阪急アドエージェンシー
その他	アルナ車両 阪急設計コンサルタント 阪神ステーションネット

不動産事業	
不動産賃貸・ 不動産分譲	阪急電鉄 阪神電気鉄道 阪急不動産 阪神不動産 大阪ダイヤモンド地下街
その他	阪急阪神ビルマネジメント 阪急阪神ハイセキュリティサービス 阪急阪神クリーンサービス 阪急リート投信 阪急インベストメント・パートナーズ
エンタテインメント・コミュニケーション事業	
スポーツ	阪神電気鉄道 阪神タイガース 阪神コンテンツリンク ウエルネス阪神
ステージ	阪急電鉄 宝塚クリエイティブアーツ 宝塚舞台 阪急コミュニケーションズ 梅田芸術劇場
コミュニケーション メディアその他	バイ・コミュニケーションズ 阪神ケーブルエンジニアリング アイテック阪急阪神 システム技研 ピーアンドピー浜松 六甲山観光 ユミルリンク 姫路ケーブルテレビ アールワークス

旅行事業	
旅行	阪急交通社 阪急阪神ビジネストラベル 阪急トラベルサポート
国際輸送事業	
国際輸送	阪急阪神エクスプレス 阪急阪神ロジパートナーズ HANKYU HANSHIN EXPRESS (USA, UK, NETHERLANDS, SINGAPORE DEUTSCHLAND, HONG KONG, THAILAND, PHILIPPINES, MALAYSIA, VIETNAM, SHANGHAI, GUANGZHOU, BEIJING, TAIWAN, KOREA, INDIA, INDONESIA, HANKYU INTERNATIONAL LOGISTICS SHANGHAIの18社)
ホテル事業	
ホテル	阪急阪神ホテルズ 阪神ホテルシステムズ 阪急阪神レストランズ 有馬ビューホテル 天橋立ホテル 呉阪急ホテル

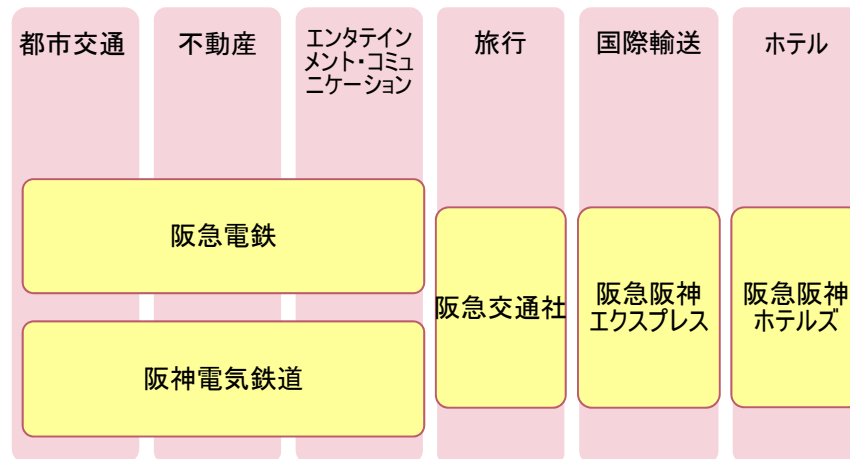
【凡例】

「コア事業」の名称	
「事業別セグメント」 における業種の名称	連結子会社の名称(「コア事業」として 管理している会社のみ記載)

営業収益・営業利益の構成

運営体制

阪急阪神ホールディングス

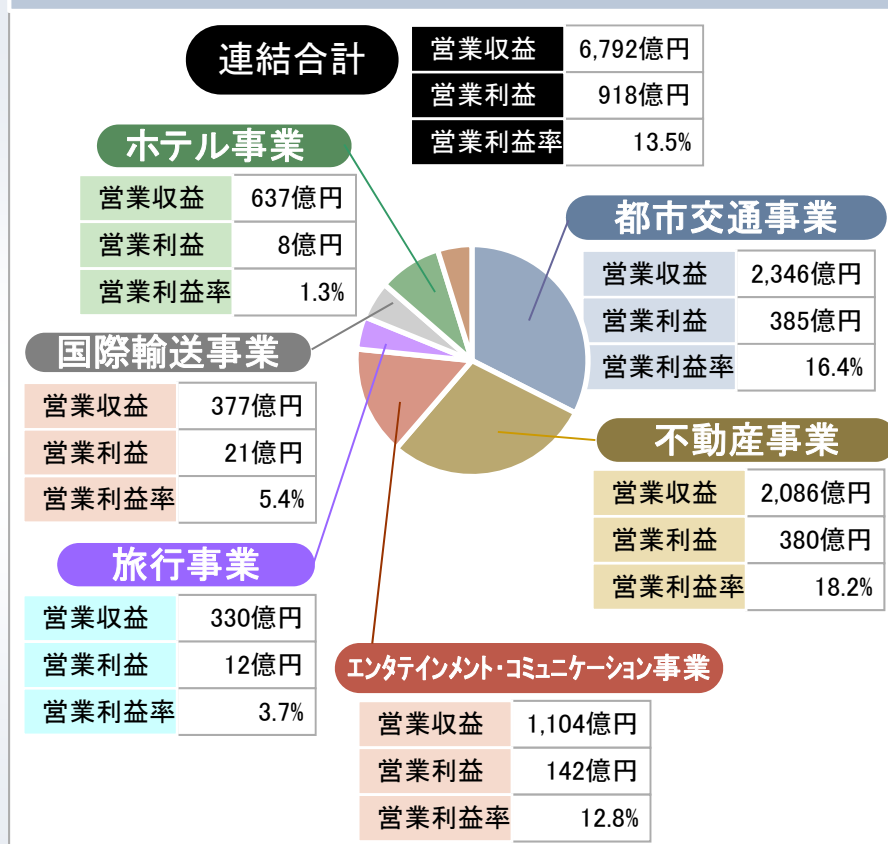


2014年3月31日現在

収益構造

- 都市交通事業、不動産事業の2事業で
営業収益の約6割、営業利益の約8割を占める

営業収益構成(2013年度連結ベース)



阪急・阪神沿線①

営業路線と主要プロジェクト

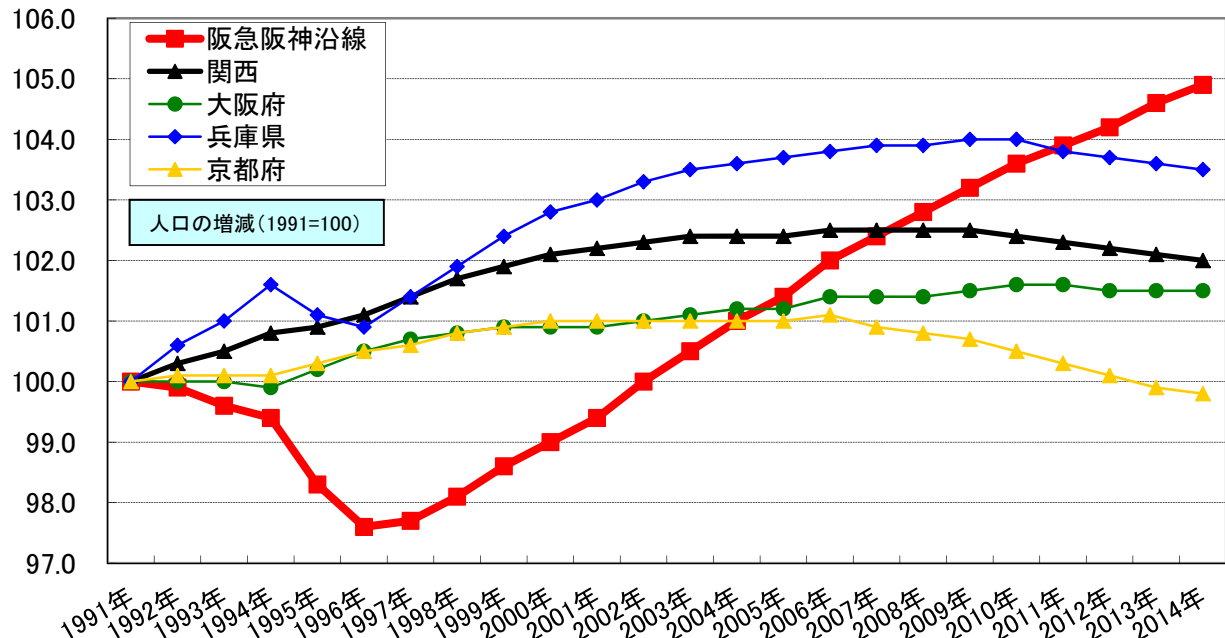


阪急・阪神沿線②

人口推移

出所)地域経済要覧(東洋経済)より、
住民基本台帳人口、2014年3月末

	面積(km ²)	人口(千人)
阪急・阪神沿線	1,311	5,551
大阪府(沿線)	446	2,617
兵庫県(沿線)	466	2,270
京都府(沿線)	398	664
阪急・阪神沿線外	26,035	15,019
大阪府(沿線外)	1,455	6,061
兵庫県(沿線外)	7,930	3,291
京都府(沿線外)	4,215	1,871
滋賀県	4,017	1,398
奈良県	3,691	1,392
和歌山県	4,726	1,006
合 計	27,346	20,576



住んでみたい街アンケート(関西圏)

出所)Major7(住友不動産他7社)による調査(2014年9月25日)

順位	地名	(所在)	順位	地名	(所在)
1	西宮	(兵庫県西宮市)	11	宝塚	(兵庫県宝塚市)
2	芦屋	(兵庫県芦屋市)	12	天王寺	(大阪府大阪市)
3	梅田	(大阪府大阪市)	13	高槻	(大阪府高槻市)
4	神戸	(兵庫県神戸市)	14	茨木	(大阪府茨木市)
5	夙川	(兵庫県西宮市)	15	御影	(兵庫県神戸市)
6	千里中央	(大阪府豊中市)	16	豊中	(大阪府豊中市)
7	三宮	(兵庫県神戸市)	17	神戸市	(兵庫県神戸市)
8	岡本	(兵庫県神戸市)	18	難波	(大阪府大阪市)
9	大阪市	(大阪府大阪市)	19	谷町	(大阪府大阪市)
10	京都	(京都府京都市)	20	箕面	(大阪府箕面市)

阪急・阪神沿線 : 阪急電鉄、阪神電気鉄道の駅のある次の地域とする(第2種鉄道事業を含む)

大阪府 : 大阪市(24区のうち福島区、此花区、西区、浪速区、西淀川区、東淀川区、淀川区、北区、中央区)、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町

兵庫県 : 神戸市(9区のうち東灘区、灘区、兵庫区、長田区、中央区)、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市

京都府 : 京都市(11区のうち中京区、下京区、右京区、西京区)、向日市、長岡京市、大山崎町

ランキング上位エリアは12位の天王寺・19位の谷町を除き全て阪急・阪神沿線である

阪急・阪神沿線③

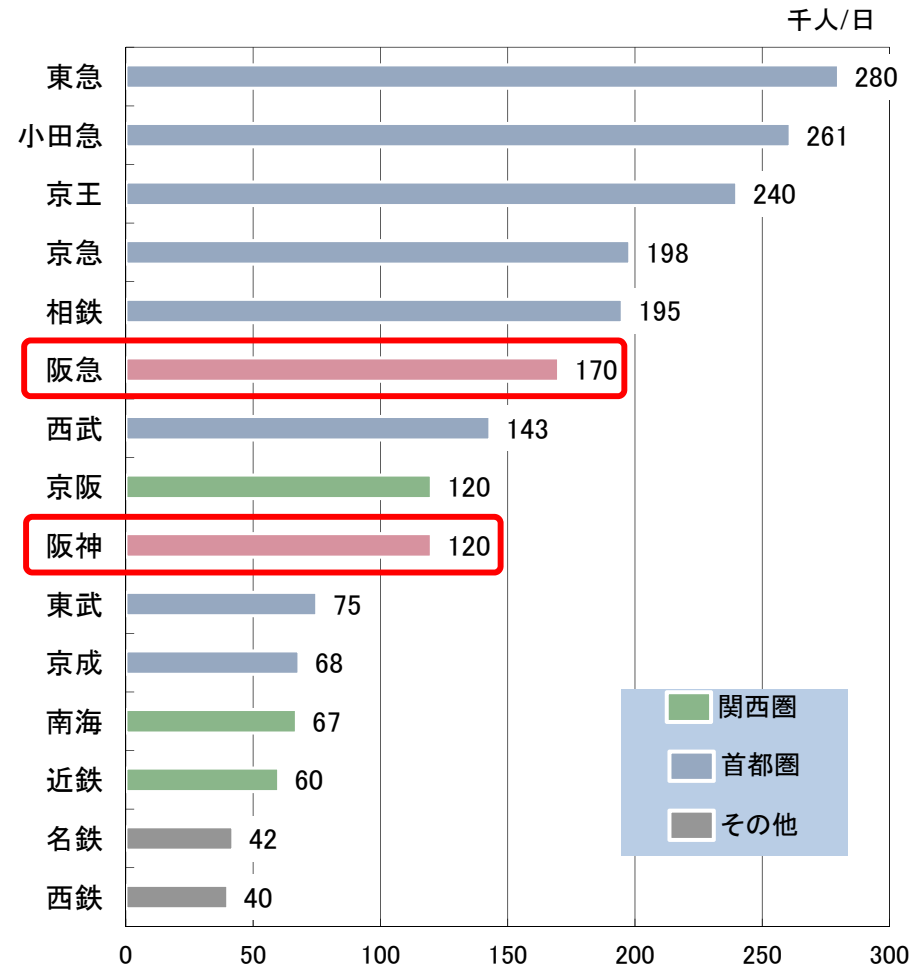
関西民鉄各社の概要

* 相互乗入れによる他社との共同管理駅を除く

	営業 キロ	輸送人員 (1日平均)	総駅数 *	乗降者数 が1日 5,000人 未満の 駅数①*	総駅数に ①が 占める 比率 *
近鉄	508.1km	1,575千人	294駅	177駅	60%
阪急	143.6km	1,724千人	90駅	2駅	2%
南海	154.8km	627千人	100駅	51駅	51%
京阪	91.1km	769千人	89駅	34駅	38%
阪神	48.9km	619千人	51駅	7駅	14%

出所)国土交通省ホームページより 2014年3月末現在、
社団法人日本民営鉄道協会「大手民鉄の素顔」より
2014年3月末現在(第2種鉄道事業を含む)

輸送密度(1日平均旅客輸送人員/営業km)

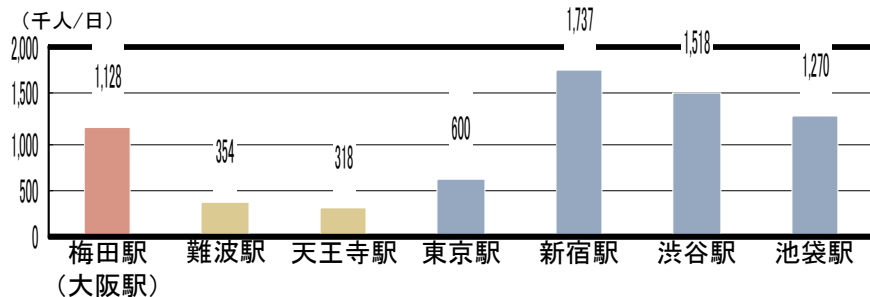


出所)社団法人日本民営鉄道協会「大手民鉄の素顔」より
2014年3月末現在(第2種鉄道事業を含む)

梅田地区の概況①

駅乗車人員

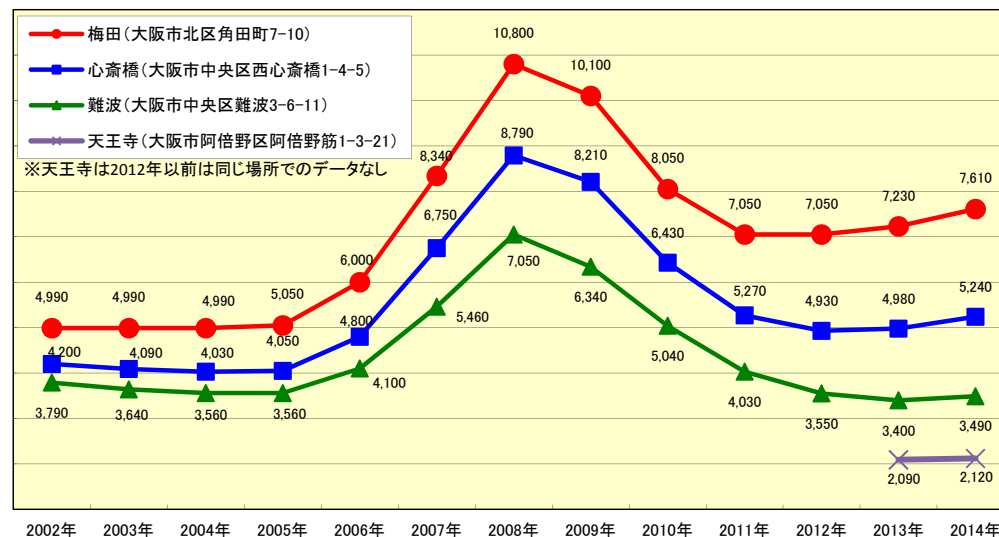
出所) 都市交通年報平成23年版(運輸政策研究機構)を参考



梅田(大阪): 大阪市交通局(西梅田・東梅田を含む)、JR西日本、阪急、阪神
難波: 近鉄、南海、大阪市交通局
天王寺: JR西日本、近鉄(阿倍野橋)、阪堺、大阪市交通局
東京: JR東日本、東京地下鉄
新宿: JR東日本、京王、小田急、東京都交通局、東京地下鉄、西武
渋谷: 東急、JR東日本、東京地下鉄、京王
池袋: JR東日本、東武、西武、東京地下鉄

大阪の主要商業エリアの地価の推移

(千円/㎡)(公示地価)



主な商業施設の売場面積

●当社関連施設

阪急百貨店 (阪急うめだ本店)	約80,000㎡
阪神百貨店	約53,000㎡
グランフロント大阪	約44,000㎡
阪急三番街	約40,000㎡
HEP FIVE	約23,000㎡
HEP NAVIO	約21,000㎡
ハービスPLAZA ENT	約21,000㎡
NU chayamachi	約11,000㎡
ハービスOSAKA	約9,000㎡
ディアモール大阪	約7,200㎡
NU chayamachi プラス	約3,000㎡

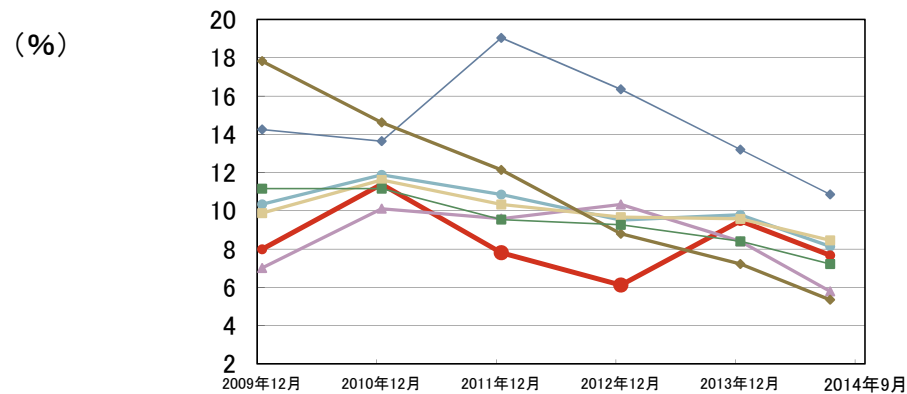
●当社以外の施設

大丸梅田店	約64,000㎡
ヨドバシカメラ [ヨドバシ梅田全館]	約50,000㎡
JR大阪三越伊勢丹	約50,000㎡
LUCUA(ルクア)	約20,000㎡
ヒルトンプラザイースト	約11,000㎡
ヒルトンプラザウエスト	約8,000㎡
ホワイトティうめだ	約14,000㎡
イーマ	約8,000㎡
梅田オーパ	約3,200㎡

出所) 当社データ、各社ホームページ

梅田地区の概況②

大阪ビジネス地区 主要6地区別 平均空室率の推移

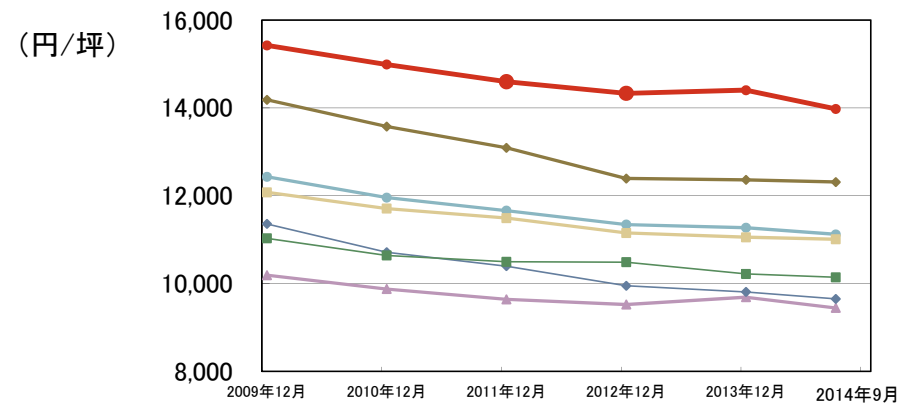


	2009年 12月	2010年 12月	2011年 12月	2012年 12月	2013年 12月	2014年 9月
大阪ビジネス地区	10.34	11.88	10.85	9.51	9.79	8.14
梅田地区	7.99	11.39	7.81	6.12	9.47	7.67
南森町地区	7.01	10.11	9.59	10.33	8.40	5.79
淀屋橋・本町地区	9.88	11.61	10.33	9.67	9.58	8.46
船場地区	14.25	13.64	19.04	16.35	13.20	10.86
心斎橋・難波地区	17.82	14.62	12.14	8.80	7.22	5.35
新大阪地区	11.16	11.16	9.54	9.27	8.41	7.22

(ご参考)

東京都心5区平均	8.09	8.91	9.01	8.67	7.34	5.65
----------	------	------	------	------	------	------

大阪ビジネス地区 主要6地区別 平均賃料の推移



	2009年 12月	2010年 12月	2011年 12月	2012年 12月	2013年 12月	2014年 9月
大阪ビジネス地区	12,431	11,957	11,661	11,344	11,271	11,120
梅田地区	15,423	14,988	14,596	14,332	14,402	13,977
南森町地区	10,190	9,876	9,641	9,522	9,690	9,446
淀屋橋・本町地区	12,078	11,709	11,491	11,152	11,054	11,009
船場地区	11,359	10,713	10,397	9,950	9,810	9,651
心斎橋・難波地区	14,184	13,576	13,091	12,392	12,361	12,312
新大阪地区	11,030	10,641	10,497	10,488	10,219	10,143

(ご参考)

東京都心5区平均	18,978	17,585	16,932	16,572	16,207	16,805
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

出所) 調査月報 大阪の最新オフィスビル市況
調査月報 東京(都心5区)の最新オフィスビル市況
(いずれも三鬼商事株)

梅田地区の概況③

(2014年3月末時点)

当グループ主要賃貸施設

(2014年3月末時点)

ビル名	賃貸可能面積 ※1	概要	竣工・完成時期
梅田阪急ビル (阪急百貨店・オフィスタワー)	213,147㎡	地下2階 地上41階建	2012年11月
大阪神ビルディング (阪神百貨店)	98,578㎡	地下6階 地上11階建	1963年 6月
梅田阪神第1ビルディング (ハービスOSAKA)	81,631㎡	地下5階 地上40階建	1997年 3月
梅田阪神第2ビルディング (ハービスENT)	54,799㎡	地下4階 地上28階建	2004年11月
阪急茶屋町ビル (ちゃやまちアプローズ)	52,099㎡	地下3階 地上34階建	1992年11月
阪急三番街	41,043㎡	地下2階 地上5階建 (一部地下4階建)	1969年11月
阪急グランドビル	36,054㎡	地下3階 地上32階建	1977年 8月
グランフロント大阪	28,125㎡	地下3階 地上38階建	2013年 3月
阪急ターミナルビル	26,491㎡	地下4階 地上18階建	1972年 3月
阪急ファイブビル ※2 (HEP FIVE)	19,738㎡	地下3階 地上10階建	1998年11月
ナビオ阪急 (HEP NAVIO)	15,711㎡	地下2階 地上10階建	1980年10月
NU chayamachi	11,895㎡	地下2階 地上 9階建	2005年10月
梅田センタービル	10,214㎡	地下2階 地上32階建	1987年 3月
NU chayamachiプラス ※3	3,021㎡	地下1階 地上 3階建	2011年 4月

※1: 賃貸可能面積は当グループ所有分を記載

※2: 阪急リート投資法人との共同所有物件 ※3: 賃貸可能面積は全体面積を記載

梅田地区周辺での開発動向

赤字=当グループが関与

- ① 梅田1丁目1番地計画
- ② 新ダイビルーダイビル(株)
- ③ 大阪市茶屋町地区土地区画整理事業ーヤンマー(株)、(学)常翔学園
- ④ ヨドバシ梅田2期計画ー(株)ヨドバシカメラ
- ⑤ 梅田3丁目計画(仮称)ー日本郵便(株)、大阪ターミナルビル(株)
- ⑥ 清和梅田ビルー清和総合建物(株)
- ⑦ 曾根崎 Link City(仮称)ー住友不動産(株)



阪急阪神第一ホテルグループ一覧

ホテル一覧

※ 直営ホテル・・・阪急阪神ホールディングスの連結決算上、宿泊・宴会・飲食の売上を営業収益に計上しているホテル
※ 下記のホテル数・客室数には、ザ・リッツ・カールトン大阪(大阪市北区 292室)は含まない

直営ホテル(阪急阪神ホテルズ)	17ホテル	4,233室	} 48ホテル 10,326室
その他(FC等)	31ホテル	6,093室	

第一ホテル東京
第一ホテルアネックス
第一ホテル東京シーフォート
吉祥寺第一ホテル
レム日比谷
レム秋葉原
ホテル阪急インターナショナル
大阪新阪急ホテル
新阪急ホテルアネックス
ホテル阪神
レム新大阪
千里阪急ホテル
ホテル阪急エキスポパーク
宝塚ホテル
六甲山ホテル
京都新阪急ホテル
レム鹿児島

東京第一イン八戸
東京第一イン八戸アネックス
モンタナリゾート
東京第一ホテル鶴岡
東京第一ホテル米沢

アワーズイン阪急
銀座クレストン
第一ホテル両国
第一イン池袋
第一イン湘南
富山第一ホテル
第一イン新湊
ホテルコンコルド浜松
東京第一ホテル錦
ホテルポストンプラザ草津
ホテルロイヤルヒル福知山&SPA
天橋立ホテル
大阪第一ホテル
梅田OSホテル
有馬ビューホテル うらら
真庭リバーサイドホテル
呉阪急ホテル
東京第一ホテル下関
高松国際ホテル
ホテルクレメント徳島
ザ クラウンパレス新阪急高知
東京第一ホテル松山
今治国際ホテル
タカラホテル福岡

東京第一ホテルオキナワグランドメルリゾート
東京第一ホテル那覇シティリゾート



阪急阪神第一ホテルグループ

ホテル所在地

